

第 21 期歴史・郷土学部 課題研究 A 班

「歴史・郷土の宝探し」



◎西村潤/○笛木喜代子/小川忠/飯島丈男/土井時彦/岡崎邦彦/高橋伸夫/○坂本洋
田中通代/長岡美喜子/関口茂/古川亜典奈/村田重子/柳澤伴子/山岸優子

◎リーダー ○サブリーダー

はじめに

歴史・郷土学部の講義を受ける中で、東松山市には自慢できる「宝」が沢山あることを知った。そこで、まだ知られていない、あるいは調べればもっと奥深い物が見えてくる、そんな「宝」があるのではないかと考えて、「歴史・郷土の宝」を探すことにした。その際「個々の想いを尊重し、全員がモチベーションを高く保ちながら課題に取り組める方法で研究を進めて行こう」を基本方針に据えて、歴史チームと郷土チームに分け、それぞれで研究を進めていくことにした。

東松山市には歴史的に貴重な文化財が沢山ある。中には貴重ではあるが現在は埋もれてしまっているものもあるのではないかと、という観点で探してみたところ、「比企西国三十三礼所」という「宝」があることが分かった。本大学の2期生の先輩方もこれを課題研究としていた。そこで歴史チームは、先輩方の研究を尊重しつつ、独自の視点から再度「比企西国三十三礼所」を研究してみようと思いついた。

東松山市のホームページを閲覧すると、令和4年、5年、6年の3年連続で「住みよさランキング埼玉県1位」とあった。このランキングは、「住みよさ」を表す指標から順位付けをしたものらしいが、指標だけで東松山市の「住みよさ」が評価できるのかという声チーム内に上がったことから、郷土チームはこれを基にして研究を行い、暮らしの中にある「住みよさ」に繋がる郷土の宝を探ることになった。

両チームは、全く違う切り口で研究を進めることになったが、どちらも東松山市を益々輝かせる為の魅力的な宝であると言えるだろう。

歴史の宝探し

担当：飯島丈男/岡崎邦彦/坂本洋/高橋伸夫/土井時彦/村田重子/柳澤伴子/山岸優子

1. 課題研究テーマ「比企西国三十三札所めぐり」選定の理由

きらめき市民大学郷土学部2期生「よみがえれ比企西国三十三札所めぐり」(平成16年課題研究)を参考にして、比企西国三十三札所の現状と歴史背景を研究した。歴史遺産を改めて見直す機会を得て、次第に損壊していく観音堂の保全、それを管理している寺院に伝わる歴史資料の発掘、保存が必要と考え、新たに情報収集の取り組みを行うこととなった。江戸時代に盛んとなった観音信仰で有名な西国三十三札所、坂東三十三札所、秩父三十四札所を模して、多くの札所「観音写し札所巡り」が新設された。その一つに比企西国三十三札所も誕生した。現存する札所を歴史遺産として東松山市の「宝」に選定した。チーム全員で三十三札所を巡り、体験学習する中で再発見した浄光寺の史料価値をもっと世に広めるため、考古資料の研究も「宝」とした。

2. 活動方針

- (1)比企西国三十三札所を巡り、情報収集に努める。
- (2)関係機関で、関連資料の収集および研究に努める。実態把握により、歴史的価値を見いだす事に挑戦する。
- (3)研究成果を別冊子にまとめる。(参考資料やガイドブックに活用)
- (4)市民一人ひとりが歴史文化遺産再認識することを啓蒙する。

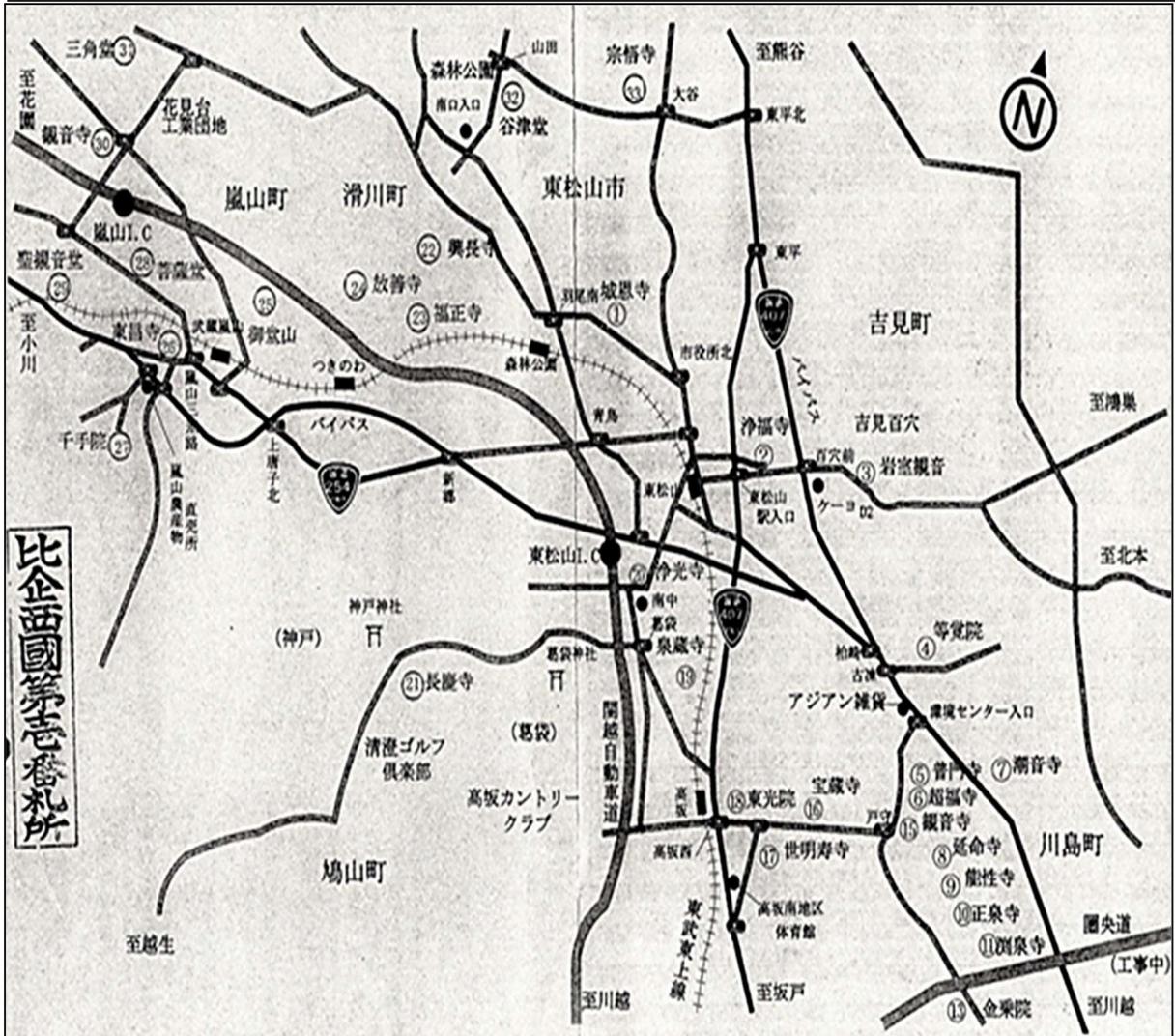
3. 比企西国三十三札所 (宗派、地区、観音像区分) 一覧表

- ・宗派別 →天台宗: 10寺 真言宗:8寺 曹洞宗:5寺 浄土真宗:1寺
浄土宗: 1寺 宗派未確認 :8寺
- ・地区別 →東松山市:9寺 川島町:12寺 嵐山町:6寺 滑川町:4寺
吉見町: 1寺 小川町: 1寺
- ・観音像区分→聖観音:17寺 十一面観音:8寺 千手観音:5寺
馬頭観音:1寺 「蛇苦止観音」:1寺 淵泉寺完全廃寺(本尊不明)

4. 比企西国三十三札所 (歴史的文化財所有寺院) 一覧表

- ・彫刻 → 4番・ (等覚院) ・木製阿弥陀如来坐像 (国指定重要文化財)
17番・ (世明寿寺) ・千手観音立像・二十八部衆像(市指定)
19番・ (泉蔵寺) ・十一面観音立像付胎内仏(市指定)
- ・絵画 → 19番・ (泉蔵寺) ・絵馬(馬の図)(市指定)
20番・ (浄光寺) ・融通念仏縁起絵巻 (市指定)
- ・書跡 → 17番・ (世明寿寺) ・算額(市指定)
- ・考古資料→20番・ (浄光寺) ・板石塔婆 (市指定)
- ・歴史資料→33番・ (宗悟寺) ・旗本・森川金石衛門氏俊の累代の墓(市指定)

比企西国三十三札所 案内図



33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
宗	谷	三	観	聖	菩	千	東	御	放	福	興	長	浄	泉	東	世	宝	観	金	金	金	洲	正	能	延	潮	超	普	等	岩	浄	城	
悟	津	角	音	観	薩	手	昌	堂	善	正	長	慶	光	蔵	光	明	蔵	音	乗	乗	乗	泉	泉	性	命	音	福	門	覚	室	福	思	
寺	堂	堂	寺	堂	堂	院	寺	山	寺	寺	寺	寺	寺	院	寺	寺	寺	院	院	院	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	院	院	院	院	寺

● (チーム全員の体験学習状況) 案内図⇒東松山文化財ボランティアの会引用
 チーム全員が、札所巡りが初めての体験学習なので、事前に作成した三十三札所資料を片手に全長 71km を 3 回に分けて現状把握と実態調査研究する弾丸巡りを決行した。車数台に分乗し①番札所から③番札所を順に学習し、ご住職や地域別管理者から心よく迎えて頂き、札所の歴史、本尊や観音様のお話しや貴重な資料を頂きました。初めて仏の世界に触れて、何もかもが衝撃的で仏の教えや奥の深さ、信仰のご利益、信仰の理解を念頭において、各札所の史実詳細や違いも学びに幾度も訪問しました。



(1) 本堂・観音堂があり、住職がいる札所 16 所から 3 所を抜粋

一番札所 城恩寺（観蔵寺が廃寺のため引継ぎ）



城恩寺本堂

風土記によると観蔵寺は「長松山普門院ト号ス」とある。寺は市内日吉町松山神社近くにあったが明治初年廃仏毀釈により廃寺となり城恩寺に引き継がれた。城恩寺は市内材木町から遷座し現在は松山町にある。観蔵寺本尊馬頭観音は、春には枝垂れ桜が美しい城恩寺本堂内に安置されている。

十七番札所 世明寿寺

山門には左右に重厚な仁王像が立ち、参拝者を出迎えてくれる。その奥には『普門閣』という額が掛かった観音堂があり、市指定文化財「千手観音立像」が安置されている。右手には本堂があり、風神・雷神の二神と「二十八部衆像」の合わせて三十体が並ぶ。このように風神・雷神像を具備しているのは珍しく逸品とされる所以である。これらの像と和算家が奉納した算額も市指定の有形文化財になっている。観音堂の天井絵 65 枚も一見の価値あり。



世明寿寺観音堂

※算額：絵馬の一種で、江戸時代に数学の問題と答えを記して神社仏閣に奉納した。

三十三番札所 宗悟寺



宗悟寺本堂

比企西国三十三札所の最後の巡礼地は、東松山市大谷の「菅谷堂」であったが、老朽化のため札所は比企一族とかかわりのある「宗悟寺」に移されている。菅谷堂の本尊は聖観音であるが、宗悟寺には若狭の局が持ち帰った源頼家の位牌と、頼家を失った苦しみから救いを求め、蛇を観音の化身と見立てた「蛇苦止観音」が安置されている。

(2) 廃寺後も観音堂は地元住民組織と管理寺院で守っている 9 札所から 3 所を抜粋

三番札所 岩室観音



岩室観音堂

空海が観音像を刻して納め、松山城主代々が信仰し護持していたと伝わる。秀吉関東出陣時に落城、焼失したといわれるお堂は、江戸時代、三世堯音が信者の助力を得て再建された。堂は京都清水寺と同じ崖や斜面から張り出すようにつくられた「懸造り」である。お堂の二階には観音像が納められている。また、四国八十八ヶ所霊地の本尊を模した 88 体の石像も納められている。岩室観音は坂東所にも指定されている。現在、この観音堂は吉見町龍性院が管理している。

十五番札所 観音寺

観音寺は、新発田藩七代藩主溝口出雲守直温が 1751 年に建立した。現在は、川島町戸守の墓地に観音堂と南戸守集会場がある。東松山市にある浄光寺の門徒寺である。聖観音は「子授かり観音」としても知られていて、祈祷をして子宝を授かった人も多いという。子宝を切に望む人々の想いのご詠歌にも表れている。8 月 9 日の縁日、花祭り、10 月 17 日の団子くれ祭りなど、毎年行われている。観音堂には、聖観音像と小さなお釈迦様が共に安置されている。



観音寺

十九番札所 泉蔵寺



観音堂

東松山市東押垂に建つ。平成 9 年、集落の人たちにより、観音堂は立派に修復された。観音堂内に「市内最古の絵馬」と「十一面観音立像付胎内仏」が収められており、共に市指定の有形文化財となっている。又、左右に日光・月光菩薩立像を具備した薬師如来坐像と地藏菩薩坐像も安置されている。天井には花鳥絵が残っている。下青鳥の浄光寺末寺で、仏事は浄光寺が執り行っているが、観音堂の守役は区長が持ち回りで管理担当している。10 月 12 日には薬師御開帳を行っている。

(3) 観音堂のみがあり村人有志らが維持管理している 7 札所から 3 所を抜粋

九番札所 能性寺

能性寺は廃寺となり天神社境内に小堂が残っている。堂内逗子の板札に寛保 1 年



天神社右隣りの小堂が観音堂

(1741 年) 十一面観音『世音菩薩所願成就所』能性寺とある。本堂は昭和 25 年前後、老朽化したため取り壊された。毎年 7 月初め「百万遍念仏（さなぶりの時期）」が行われ、地域の子供たちが大きな数珠を持ち、各家庭を回り、病気や悪霊を払う行事があった。少子化に伴い 10 年前に途絶えたという。数珠は本堂に保管され、地元住民が天神様と合わせて管理している。

二十四番札所 法善寺

すでに廃寺となっているが、滑川町水房に建つ十一面観音を祀った観音堂がある。この札所は代々吉野家が管理しているが、その祖先を藤原朝尊とし、元服して吉野出雲守と名乗り、京都よりこの地に移り住んだ。江戸時代には多くの分家を出し、代々名主をつとめた旧家である。墓地には吉野家の開祖の石碑が建っている。この観音は、吉野出雲守藤原朝尊の持仏であったと伝えられている。



法善寺の観音堂

三十二番札所 谷津堂



谷津堂

もともと寺院はなく聖観音を祀っている「観音堂」のみであったようである。滑川町下山田がその住所であり、武蔵丘陵森林公園へ行く道路のわき道から入るが、そこに札所案内が立っている。案内札から 3~4 百メートルほど、畑と獣が現れそうな山道を歩いて行くと、山の中腹に贅田家の墓地に隣接した処に建てられた三尺四方のお堂があり一番小さい札所と言える。管理者の地主贅田近一氏による、終戦までは参拝者が多くあったという。長い年月を経て、獣(狸、狐、イタチ)等に破壊され観音堂内には観音像は入っていない、以前は 10 月 9 日の縁日に食べ物を供えていた。



5. 浄光寺（20 番札所）について

課題研究活動中に、下青鳥の浄光寺（天台宗）には多くの歴史的所蔵物や古文書類があることに着目した我々は、文献や資料を調査し、今回発見した古文書や林康達住職の貴重な話を基に現在「大願山浄光寺」のタイトルで冊子を作成中である。その中でも幾つかの貴重な内容を抜粋し以下報告する。



(1) 浄光寺略縁起

略縁起とは寺院の歴史や背景を記したものだが、この書は正徳四年（1714 年）七代将軍徳川家継の時代に、記されたものであった。

その主な内容は、大願山成就院浄光寺と称し、本尊は延命地藏尊なり。（行基作と伝う）創建は仁治元年庚子三月五日。（1240 年）開山は覚詮。（板碑あり）古くは青鳥山延命寺と称し、宝治二年（1248 年）9 月 7 日、第八十九代後深草天皇より勅願宣下され、斉田百石を賜り、大悲願山成就院浄瑠璃光寺と改む。当時は、一山四十坊を数えると伝う。慶長五年（1600 年）雷火で焼失、年代不詳ながら約 30 年後には再興されている。住職の話では浄光寺近くの末寺であった、久遠山 千住寺が廃寺となり、聖観音菩薩を受け入れ比企西国三十三札所巡り二十番札所となったとのことで、山門の脇に札所の札が掲げられている。

(2) 主な文化財・寺宝



①板碑三基

板石塔婆は、鎌倉時代から戦国時代にかけて、死者の追善供養や死後の極楽往生を願って造立された石製の供養塔婆

（指定文化財考古資料昭和 40 年 8 月 10 日指定）



②融通念仏縁起絵巻

浄光寺に残る「融通念仏縁起絵巻」は、二幅一舗の掛幅装で、仕様は紙本著色二部金箔切金、法量は量幅とも縦 149.5 cm、横 149.7 cm である。箱書きから、寛政元年（1789 年）5 月 15 日、浄光寺 33 世舜源の時代に作られたことがわかる。

この絵巻には、他の融通念仏縁起には見られない

場面があることや、釈迦の描き方に特徴がある。残念ながら、落款や署名がなく、伝承もないため、作者は不明であるが、画面構成や、淡色を添えた墨描の筆致も優れていて、寛政期としてはなかなかの腕を持った絵師の作品である。また、都における良忍の融通念仏勧進に集う貴賤男女の姿など、江戸時代の寛政期頃の風俗や信仰形態がよく反映された作品でもある。

③浄光寺大般若経



唐代に玄奘が大乗仏教の基礎的教義を書いた「般若経典」を集大成した「600」巻に及ぶ膨大な経典で近年まで村の行事としてこの般若経を担ぎ御幣を立て、注連縄（しめなわ）に紙垂（しで）を垂らし一軒一軒家を回り最後に神社で宮司によるお祓い行い、それをもって終了とする催事が行われたそうです。重さ約30キログラムあり、担ぎ手の苦勞、和尚さんは下駄をはき、経を唱えて練り歩き、大変な重労働であったそうです。

④徳川家からの御朱印状



江戸時代において将軍が公家・武家・寺社の所領を確定させる際に発給する朱印状を現在浄光寺は8通所蔵している。その表書の院号を調査した結果以下、8将軍からの朱印状と判明した。

大猷院：3代将軍	徳川家光
常憲院：5代将軍	徳川綱吉
有徳院：8代将軍	徳川吉宗
惇信院：9代将軍	徳川家重

浚明院：10代将軍	徳川家治
文恭院：11代将軍	徳川家斉
慎徳院：12代将軍	徳川家慶
温恭院：13代将軍	徳川家定

御朱印状の内容

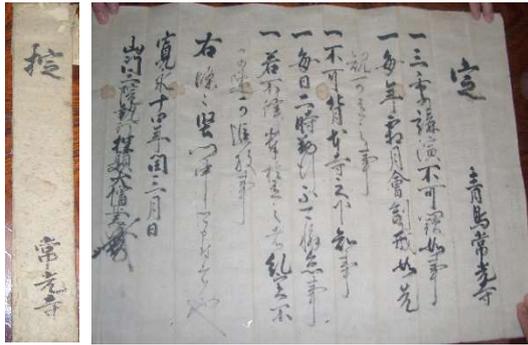
徳川3代将軍 家光よりの御朱印状。



実際は江戸時代語調であるが、平易文に直すと内容は、領地として23石を先の約束通り寄付します。すべて納めていただき同時に寺の門前や山林、竹木、諸々の役等を免除いたします。これらのこと今後も間違いありません。

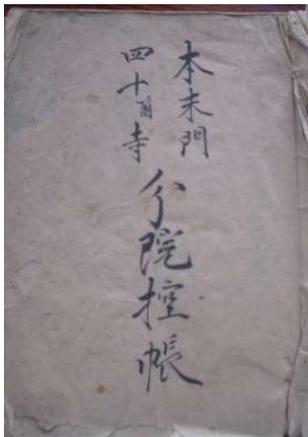
慶安2年（1649年）8月24日

⑤天海大僧正からの掟書



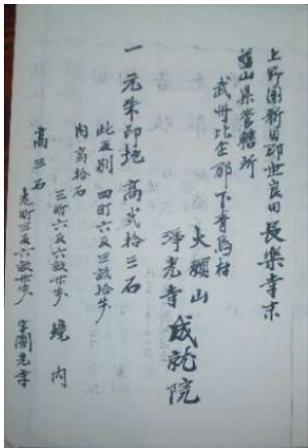
寛永十四年（1637年）3月に発令された掟書「山門三院執行探題大僧正天海」と記されている。その他浄光寺には2通の掟書が所蔵されている。但しこの掟書の浄光寺の浄の字が間違っ
て常と書かれているのが、かえって貴重と思われる。

⑥本末門分院四十カ寺控帳



本末制度とは、江戸幕府が仏教教団を統制するために設けた制度で「末寺帳」と呼ばれる末寺を、取りまとめている文書の提出を、義務づけた制度である。

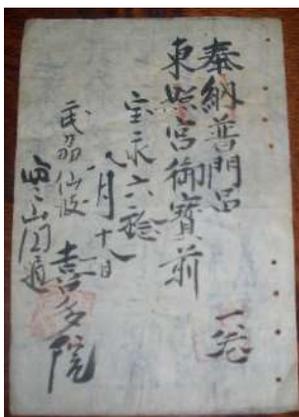
群馬県太田市世良田町にある、天台宗準別格大寺 世良田山長楽寺は江戸時代、徳川家康が関東に入ると、徳川氏祖先の寺として長楽寺を重視し、天海大僧正を住職に任じた。さらに、三代将軍家光の命を受けて天海は、臨濟宗から天台宗に改宗、日光東照宮の社殿を移すなど、長楽寺は末寺 700 余寺を擁する、大寺院として再興した。



浄光寺は、その長楽寺の末寺として、比企郡で 39 寺の末寺を統括する寺院として存在した。本文の内容は浄光寺含め、各末寺の開基・中興・本尊・各堂宇の大きさ・石高・敷地及び田畑の広さ等かなり細かく記載されており、当時の寺院の状況が良く分かる貴重な資料である。我々はこの 40 寺の現状を調査した結果、現在は 20 寺が廃寺となり 20 寺が現存している。その分布は

東松山市：11 寺、比企郡嵐山町：2 寺、比企郡川島町：2 寺、比企郡滑川町：3 寺比企郡都幾川町：1 寺、熊谷市須賀広：1 寺の合計 20 寺である。

⑦奉納書



浄光寺には各種奉納書が 28 通所蔵されており、その内 17 点の奉納部門品、8 点の奉納大経(妙)典、その他の奉納書 3 通を所蔵している。

写真は奉納普門品の一例(川越の喜多院)で、奉納普門品とは正確には「妙法蓮華経観世音菩薩普門品」と称し「観音経」とも言われ、その一卷を奉納した朱印状である。時代は宝永六年（1709年）六代将軍徳川家宣の時代である。

⑧古図による寺領について



浄光寺には不統一に古地図が所蔵されてあった。それをつなぎ合わせ完成させ写真に収めた。この地図によると天保十二年（1841年）37代良乗作と記され浄光寺の敷地面積は9800坪と記載されている。地図には標識や名主の名前、各方面の村名も書かれている。東方が野本村、南方が元宿村、西方が葛袋村と記されている。

撮影許可 浄光寺

⑨佛像について

東松山市仏像調査報告「佛像」写真引用

浄光寺には沢山の佛像が安置され、その数合計20体あり他寺院に見られない多さである。

本堂には本尊の地蔵菩薩半跏象（左下写真）はじめ合計16体が安置されている。1985年発行の東松山市仏像調査報告「佛像」によると天台高僧で掲載している高僧は新たに元三大師良源と判明した。

天台宗は本尊に対し左側に天台大師、右側に伝教大師が安置されるとのこと。



地蔵菩薩半跏象

木造 肉身部漆箔・衣部古色玉眼

像高 44.4 cm

江戸時代

浄光寺本尊。延命地蔵はこのように宝珠と錫杖を持ち左足を下して半跏している。



天台大師坐像

木造 彩色 玉眼

像高 50.5 cm

江戸時代

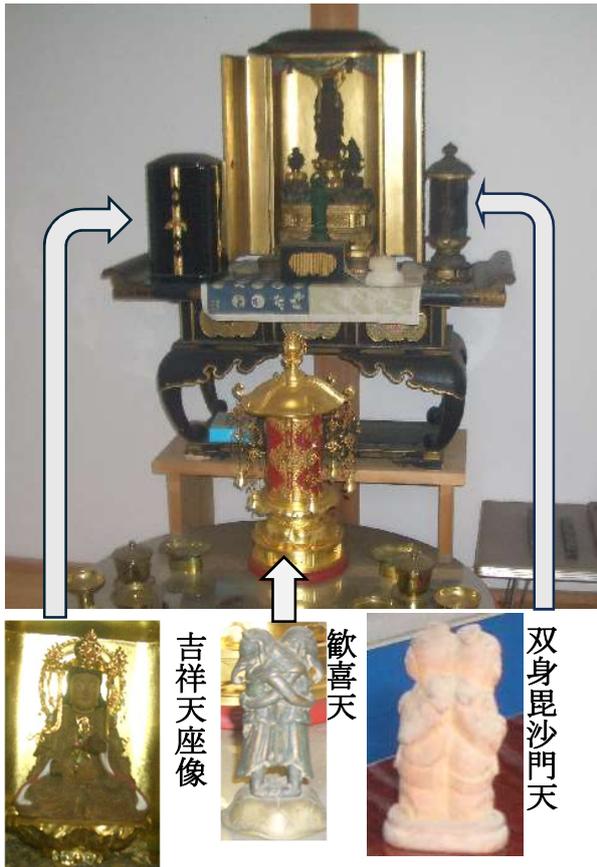


伝教大師坐像

木造 彩色 玉眼

像高 50.5 cm

江戸時代



参考文献資料

1. 東松山市の文化財＝野本編＝ 東松山市教育委員会 平成6年3月28日発行
2. 佛像 東松山市仏像調査報告 東松山市 1985年発行

今回、本堂の他に滅多に見られない別堂（最勝宮）の仏像も、拝観が許され写真に収めることが出来た。

別堂に安置されていたのは、中央上段が弁財天立像（脇侍；大黒天、毘沙門天）、その左側が吉祥天座像、右側が双身毘沙門天中央下段が歓喜天像（頭人身の形像）であった。

これらはすべて厨子に収められており開帳していただいた。

我々の調査結果、吉祥天及び歓喜天像（象頭人身の形像）は従来の資料には無いものである。双身毘沙門天は特別に住職にお願いし明るいところで撮影が出来た。尚、これ等の全ての20体の佛像についての詳細は、別冊書「大願山 浄光寺」に委ねる。

撮影許可 浄光寺

郷土の宝探し

担当：小川忠/関口茂/田中通代/長岡美喜子/西村潤/笛木喜代子/古川亜典奈
 <まえがき>

郷土の宝探しを担当するにあたり、郷土チームは「住みよさランキング」について調べてみました。「住みよさランキング」は東洋経済新報社の都市データパック編集部が毎年発表しているもので、全国の市区を対象に「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つの視点から、20のデータを用いてそれぞれの偏差値を算出、その平均値を総合評価として順位付けしたものです。

尚、東洋経済新報社は毎年「都市データパック」という、各種の統計情報や独自に入手した最新データをもとに、街の立ち位置が一目でわかるデータ本を出版しており、「住みよさランキング」にもその本に記載のデータが利用されています。

郷土チームの宝探しは、「都市データパック」からのデータ把握、東松山市に関わる各種情報収集、現地調査による確認、私達市民が日々の生活で感じる街の魅力など、幅広く宝探しを行い、その結果から「郷土の暮らしお宝10」を選定し、報告書としてまとめることにしました。

郷土のお宝その1ー東松山は広々としています！



＜東松山市の地形分類図＞



＜新東松山橋から岩殿丘陵方面＞

東松山市の地形は、市内中央部から西部にかけては東松山台地が広がり、南部は高坂台地が広がっています。

また、北部は比企丘陵、西南部は岩殿丘陵の東部にあたる為、台地と低地の境界面は斜面になっている場所が多く見られます。

令和2年地目別土地構成										単位:ha
	田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	総面積	
鶴ヶ島市	0.2%	29.9%	51.3%	0.0%	6.8%	0.0%	0.0%	11.7%	1351.8	
坂戸市	23.2%	21.7%	38.1%	0.1%	4.4%	0.0%	2.5%	10.0%	2923.9	
☆ 東松山市	17.8%	23.2%	28.0%	0.5%	14.1%	0.0%	0.6%	15.8%	5193.8	
比企郡 滑川町	15.2%	21.9%	16.2%	0.4%	31.1%	0.0%	0.1%	15.2%	2471.7	
比企郡 嵐山町	12.6%	19.9%	18.0%	0.0%	36.8%	0.0%	2.4%	10.4%	2405.7	
比企郡 小川町	7.1%	11.2%	12.7%	0.1%	60.9%	0.0%	0.5%	7.6%	4712.5	
比企郡 川島町	47.9%	28.0%	18.8%	0.3%	0.5%	0.0%	0.9%	3.7%	2970.4	
比企郡 吉見町	35.3%	31.8%	18.1%	0.2%	6.8%	0.0%	2.1%	5.8%	2642.4	

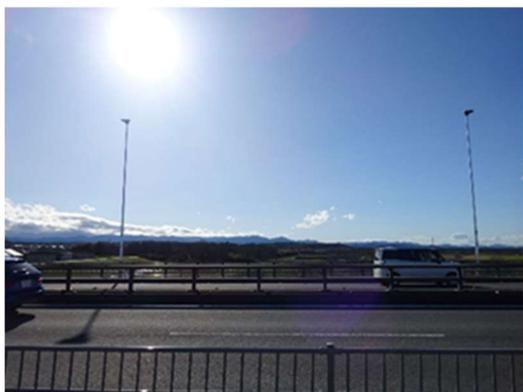
注) 1. 雑種地には、野球場、テニスコート、ゴルフ場、競馬場、鉄軌道地、遊園地等が含まれる。
 2. 墓地、境内地、運河用地、水道用地、用悪水路、ため池、堤、井溝、保安林、公衆用道路、公園及び鉱泉地等は含まれない。
 ※地目構成は令和2年埼玉県統計年鑑・市町村別地目別土地面積から算出

東松山市の総面積は、東上線沿線の近隣市町の中では一番広く、鶴ヶ島市の約 3.8 倍、坂戸市の約 1.7 倍もあります。

鶴ヶ島市は宅地の比率が 5 割を超え、川島町、吉見町は農地（田・畑）の比率が 7 割前後を占めています。また、東武東上線でつながる滑川町、嵐山町、小川町は山林の比率が高く、特に小川町は山林が 6 割を占めています。東松山市は田・畑・宅地・山林・雑種地に偏りが見られません。

川越から東武東上線を利用して東松山市に入ると、越辺川や都幾川の低地には田園風景が広がり、これまでの東上線沿線にはない広々とした土地の印象を受けます。

郷土のお宝その2ー東松山のゆったり感が好きです！



＜新東松山橋から浅間山方面＞



＜新東松山橋から日光連山方面＞

東松山市は丘陵と台地と低地により土地が構成されているため、低地でも眺めがよく、また高層の建物も少なく、遠くは富士山、浅間山、赤城連山、日光連山、筑波山も望むことができ、その空間的な広さを感じれば感じる程、見上げる大空はさらに広大で、そしてなんとなく「ゆったりとした時の流れ」を感じさせてくれます。



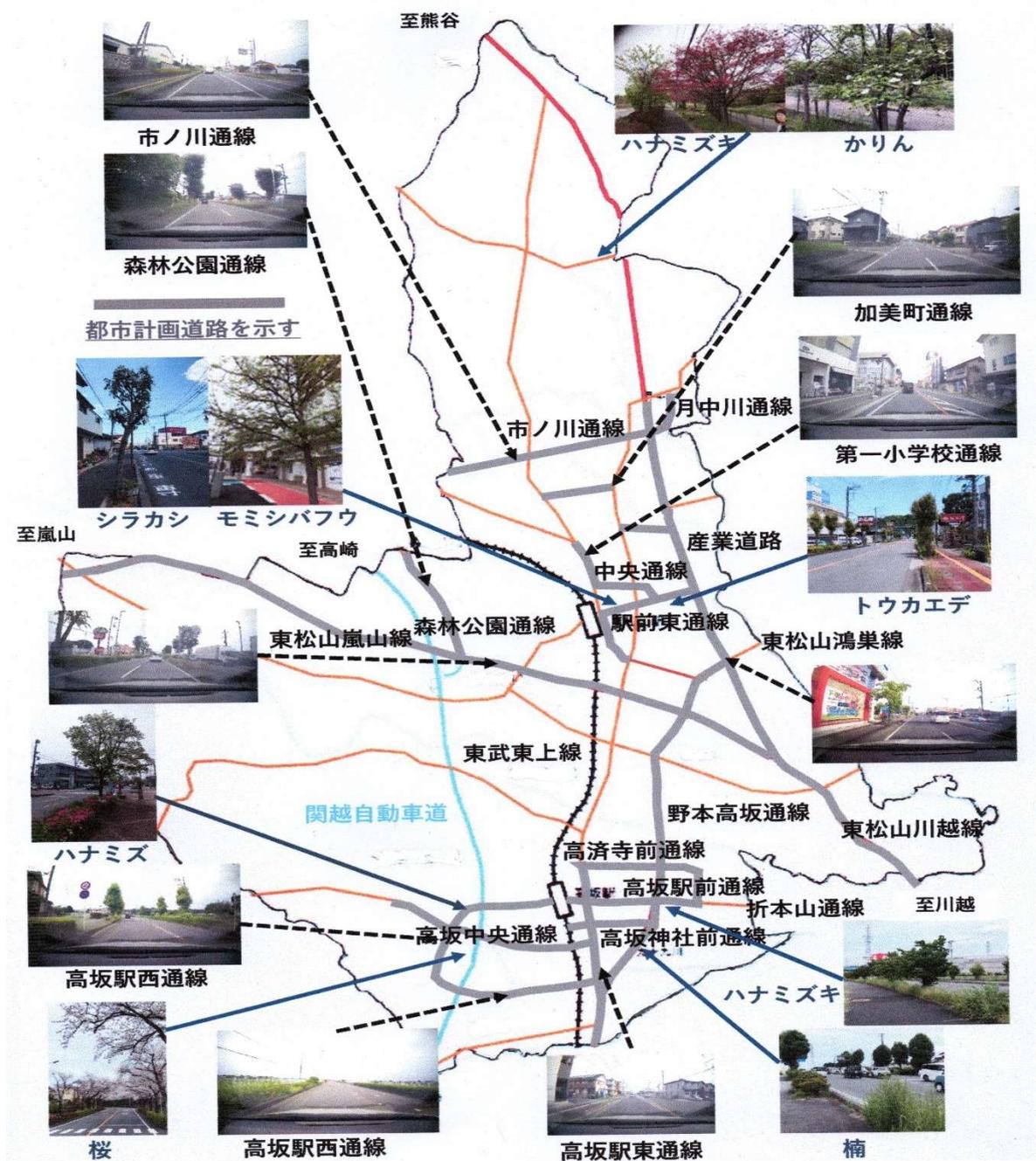
東武東上線の東松山駅前と高坂駅前のロータリーには、ノーベル物理学賞受賞者梶田隆章先生の記念碑があり、プレートには「東松山のゆったりした環境の中で育ったことに感謝します」との梶田先生の言葉が刻まれています。

梶田先生が過ごした「ゆったりとした環境」が、私達が今感じる「ゆったりとした時の流れ」と共通するものがあるとすれば、東松山に住む子供達にとって生活環境はかけがえのないものであり、イライラが募る現代においては尚のこと、この街にとってのお宝であることに間違いありません。

郷土のお宝その3ー都市計画による街造りを進めています！

都市計画により、総延長が56kmに及ぶ都市計画道路が決定され、順次道路整備が進んでおり、安全で渋滞のない快適な道路環境が整いつつあります。道幅については、それぞれの道路の交通量などの状況に応じて、道路幅は12mから25mの幅員となり、日々の交通渋滞解消、地震災害時の車両通行確保、火災時の延焼防止に対して道路拡張効果が発揮されると思われます。

また、東松山市の幹線道路には街路樹が植えられており、道路だけの殺伐感をなくし、ドライバー心理に余裕を与えて安全運転につなげるなど、街路樹がもたらすプラス効果が期待されます。



東松山市内では土地開発事業計画が実施され、新しい街造りが行われています。街は生きもの、時代に合わせたリニューアルが必要です。特に駅前のイメージは街の評価に直結し、住む街の選定に大きく影響すると考えます。強いては「住みよさランキング」の結果にもつながって来ます。



東松山駅東口方面



高坂駅東口方面

東松山駅前には電線が地中化され、歩道（自転車道含む）がとても広く、道路に沿った街並みが見違える程に変貌、高坂駅東口も同様に駅前ロータリーを含む開発が行われました。

郷土のお宝その4—魅力的な公園がたくさんあります！

「都市データパック」によると、東松山市民1人当たりの公園面積は 23.2 m²で、坂戸市の 4.4 m²、鶴ヶ島市 5.9 m²と比べると広さは4~5倍になります。

尚、都市計画法には都市公園の配置及び規模が記載されています。

街区公園	街区内に居住する者の利用を目的とする	0.25ha
近隣公園	近隣に居住する者の利用を目的とする	2ha
地区公園	徒歩圏内に居住する者の利用を目的とする	4ha
広域・運動公園	市町村の区域内に居住する者の利用を目的とする	

<東松山市公園マップ>



<お薦め公園>

<p>松本町一丁目緑地</p>  <p>薔薇が人気の公園ですが、薔薇以外にも魅力的な花壇を展開しており、夏場はペットボトルの風鈴で涼を演出するなど、来園するのが楽しみな公園です。</p>	<p>岩鼻公園</p>  <p>東松山市市制 70 周年記念イベント実施。ポルトガルのアゲタで芸術祭の一環として始まった『アンブレラスカイ』を真似たものだそうです。</p>
---	---

郷土のお宝その 5—ぼたん園から東松山の宝が生まれます！



東松山市のぼたん園は、市の花ぼたんの普及活動の一環として平成 2 年 3 月に開園し、現在は約 150 品種、約 5,000 株の関東有数の規模を誇るまでになりました。

10 年前より、ぼたん苗日本一の生産地である島根県大根島の有限会社由志園が技術指導（土の配合・土地改良）や苗の提供を行っており、令和 6 年 4 月より由志園が指定管理者となりました。

ぼたん開花最盛期にあわせてのイベントにおいても新しい演出（池泉牡丹）があり、また牡丹→ハイブリッド→芍薬と、長い期間花々を楽しめる工夫もありました。

由志園の所長に伺ったところ、『今後は東松山市をぼたんの産地に行きたい』と話されており、近い将来に東松山ブランドのぼたんが作られ全国に発信できたなら、どんなに素晴らしいことでしょう！（有限会社由志園所長へのインタビューより）

郷土のお宝その 6—埼玉こども動物自然公園は魅力がいっぱいです！



開園は 1980 年（昭和 55 年）5 月 5 日。

子供達が動物および比企丘陵の自然と調和できるよう計画され、「こどもが動物と親しむ」「こどもが自然の中で情操と科学心を養う」「こどもがリラックスして遊べる」の基本理念のもと、岩殿丘陵に広がる巨大な敷地を利用して、動物園、散策路・クロスカントリーコースを整備、動物園は一部の動物は放し飼いにされており、動物は 200 種を越え、その数は 1,600 点余りが飼育されている埼玉県内最大の動物園です。

（※Wikipedia を参照）

公園利用者：令和 4 年 544,450 人（埼玉県こども動物自然公園現況調査書より）

人気の動物達>

				
コアラ	クロツラヘラサギ	ペンギン	クオッカ	プーズー
				
キリン	ニホンカモシカ	キツネザル	スナネコ	ハウシャガメ

コアラは日本では7カ所の動物園のみ飼育され、クロツラヘラサギは絶滅危惧種指定され、クオッカが見られるのは日本では埼玉こども動物自然公園のみ、キリン舎は国内初のガラス張り屋内展示室となっています。また、丘陵の地形を生かした自然に溶け込むニホンカモシカの展示場、世界最小のシカであるプーズー、生息地を再現した環境の中でのびのび暮らすペンギンなど、埼玉こども動物自然公園は魅力ある動物園として知られています。 ※動物園の飼育状況は令和6年4月現在

郷土のお宝その7ー東松山市は暮らしやすい街です！



東松山市における公共交通は、東武東上線は高坂・東松山・森林公園・つぎのわ駅の4駅が利用でき、東松山駅からのバス便は、熊谷・鴻巣・川越・マイタウン循環・五領車庫行の各路線が、また高坂駅からは鳩山車庫・東京電機大・上熊井 or 越生・ピオニーウォーク行の各路線が利用できます。また、上岡・大谷地区と唐子地区へは循環バスが運行しており、現状の市内公共交通網としては満足できるレベルが維持されています。



ピオニーウォーク東松山へは車での来店を想定、時速40kmで10分、20分、30分に設定すると、それぞれの商圏内の人口は、
 車で10分以内ー 167千人
 20分以内ー 656千人
 30分以内ー1,716千人となります。

※人口データは令和2年国勢調査、商圏人口計算は国土地理院 jSTAT MAP を使用

尚、ピオニーウォーク東松山は、埼玉県中部地区最大規模の商業施設で、東松山市以外の地域からも集客し、東松山市の商業売上のアップに貢献しています。

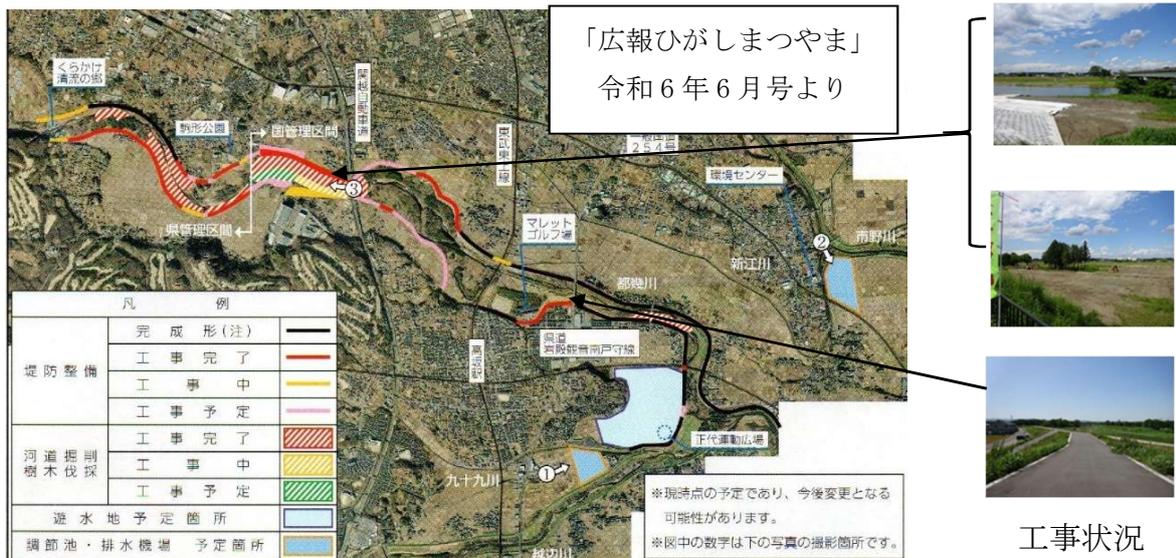


東松山市内には、ピオニーウォーク以外にも大型ホームセンターを核としたビバモール東松山はじめ、食品スーパーやドラッグストアなど、多くの店舗が営業しており、市民の買い物環境については満足できるレベルにあると考えられます。

郷土のお宝その8ー備えあれば憂いなし！

令和元年（2019年）の東日本台風で大きな被害が発生した東松山市内の河川では、河川改修が進んでいます。

都幾川では、大雨時の川の水位を低くする為に、河道の掘削や樹木伐採、堤防整備が進められると共に、大雨時の川の洪水を一時的に溜めることで、川の水位を低下させる効果がある遊水池や調整池の整備が進められています。



東日本台風の甚大な被害を二度と被らないための河川大改修は、東松山市民が安心して暮らせる大事な宝になること間違いなしです。

郷土のお宝その9ーもっと図書館を利用しましょう！



インターネットが普及し始めてから約30年、徐々に本屋さんが少なくなって来たと感じてはいましたが、気付けば東松山市内の書店はどんどん少なくなり壊滅状態になっております。

本屋さんに何気なく入り、色々な本を手に取り、気に入った本を購入して読むといった、そんな当たり前の暮らしがもう直ぐ消えようとしています。

これからの私達と本との関係を考えると、今後図書館の役割は大きく、教育・文化の宝物施設として、生活に必要な公共施設になることが考えられます。市内の3図書館の令和4年度利用状況は、年間約15万人が利用、登録者数は35,713人で市民の約40%、利用者の構成は70歳以上が約15%で一番多く、50歳以上で約半数を占めています。なお、比企eライブラリ（電子図書館）も令和4年9月に開設され、ネット時代の図書館対応もすでに始まっています。※「なしの花図書館」は2024年9月をもって閉館となりました。

郷土のお宝その10ー教育は未来への架け橋です！

大正時代の中頃、比企郡松山町を中心にした地域住民による県立中学校招致の運動



が実り、松山高校は大正12年（1923年）創立されました。旧制松山中学の校舎は、昭和42年（1967年）の新校舎建設にあたり、取り壊されるはずだったところ、卒業生をはじめ有志の熱意によって取り壊しを覆し、記念館（国登録有形文化財）として保存されることになりました。

『松山第一小学校と松山中学校の間の道を北上すると、その突き当たりに松山高校の正門があり、創建当初はその正面に、南に面する形で両ウイングを広げた校舎が君臨していた。現在は主役を新校舎に譲り、肩を狭くしたように縮小され、向きも東に変わっている。ところがその存在感たるや、池に姿を映しながら威厳たっぷりである。』

大正期の様式にとらわれない自由な装いと、薄緑色の下見板に、粋な茶色がリズムを刻んで、テノールで校歌を歌い上げているようである。』（文：卒業生）



旧制松中・松高百年の精神「文武不岐」は学問と武道が別々のものではなく、一体になっていることを表す言葉です。学問と武道が相互に関連し合い、互いに強化するという考えを示しています。



90歳になった**渋沢栄一**が旧制松山中学の生徒を激励するためにしたためた「なんじのためにきよしよをおしむ」とは、時間を惜しんで勉学に励むようにということを意味しています。



東松山きらめき市民大学は、創設時の学長（坂本元市長）の挨拶にある、人生を見据えたシニア活躍の推進にあたり、学ぶことによって豊かな心を育み、市民ひとり一人の個性が輝き、元気な人々の生活があふれ、彩り豊かにきらめく、そんな街を目指し、平成 14 年 4 月に埼玉県雇用事業団から市に移管された旧青年自然の家（当時 3 階建・現在平屋）を校舎として開校されました。

開校時の大学の運営に関しては、石橋にあった埼玉県いきがい大学の廃校が決まっていた為、その大学運営ノウハウを引き継ぐ形となりましたが、東松山市民を対象とした 1 期生定員 100 名の学生募集には、454 名の応募があり、市民の学習意欲の高さが如実に表われた結果となりました。

われわれ 20 期生（2024 年卒業）までの卒業生徒数は大学 1,656 名、大学院 172 名（大学院は 7 期生で終了）となり、卒業後は 100 年きらめき人生に向け、観光ガイド、ボランティア、サークル運営などで多数の卒業生が活躍されています。

松山高校（旧制松山中学含む）は令和 5 年（2023 年）に創立 100 周年を迎え、卒業生徒数は 31,847 名にのびります。

『米百俵の精神』という逸話があります。戊辰戦争で焦土と化した城下町長岡に、窮状を見かねた支藩より見舞いの米百俵が届けられました。だが、米の配分を心待ちにする藩士が手にしたのは「米を売り、学校を建てる」との通達。いきり立つ藩士を前に、大参事小林虎三郎は「百俵の米は食べばたちまちなくなるが、教育にあてれば明日の一万、百万俵の米になる。」と言って諭したそうです。（山本有三著）

<あとがき>

郷土チームの課題研究『郷土の宝探し』は、東松山市の日々の暮らしに関わりあるものを取り上げましたが、研究を終えて私達メンバーが感じたことは、「当市は宝（よさ）がたくさんあり、住みよい街である」ということです。

時代も変化し、生活も変化し、街も変化して行きます。

これから 10 年先、20 年先にこの街はどうなって行くのでしょうか。

この街をより魅力ある街にして行くには、この街に関わる人達ひとり一人が、街のよさを知り、街を好きになる、または街を愛することが大切だと思います。そのようになれば、「住みよさランキング全国 1 位」の街になることも、夢ではないかも知れません。

（参考資料・文献）

*道路地図・公園マップ・公共交通マップは、国土地理院地図をベースに作図。

*地形分類図は、「東松山市の地質」2019. 3. 31 東松山市発行を参考に作図。

*物見山についてはガイドさんの説明から引用。

*東洋経済新報社発行『都市データパック』は市立図書館 2 階に蔵書されている。

*東松山市史編さん委員会・教育委員会『東松山市の歴史（続巻）』2024 年 7 月発行。